

# 結果の概要

## I 結婚の状況

### 1 この8年間の結婚の状況

第1回調査（20～34歳）時の独身者のうち、この8年間で結婚した割合は、男女とも第1回の年齢が25～29歳の階級が最も高い。

第1回の独身者のうち、男性はこの1年間で3.7%が結婚し、この8年間で結婚したのは35.0%となった。女性はこの1年間で5.3%が結婚し、この8年間では44.5%となった。男女とも、第1回の年齢が25～29歳の階級が結婚した割合が最も高く、男性39.8%、女性48.2%となっている。（表1、図1）

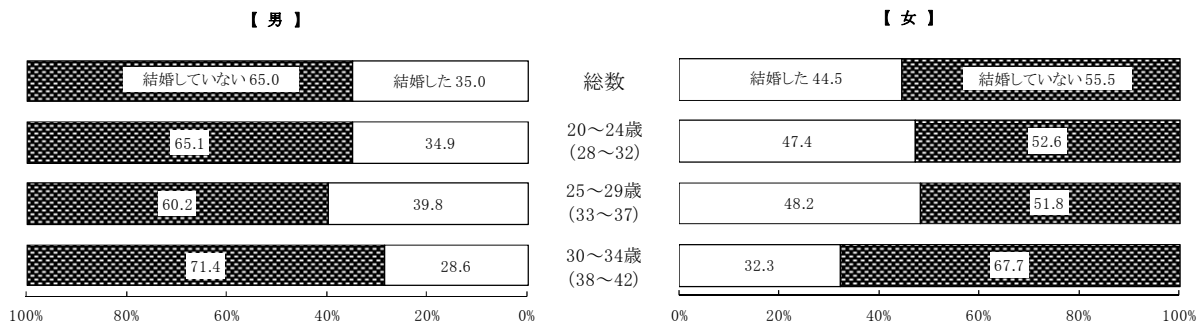
表1 性、年齢階級別にみたこの8年間の結婚の状況

(単位：%)

		第1回調査時の配偶者の有無			この8年間の結婚の状況			
		総数	配偶者あり	配偶者なし	結婚した	第8回調査から第9回調査間	結婚していない	
第1回調査時の年齢階級 ( )内は第9回調査時	男	(100.0)	100.0	37.9	61.1	21.3	2.2	39.7
	20～24歳 (28～32)	(24.8)	100.0	5.3	93.5	32.6	4.6	60.9
	25～29歳 (33～37)	(32.2)	100.0	31.4	67.4	26.8	2.7	40.5
	30～34歳 (38～42)	(43.0)	100.0	61.5	37.6	10.7	0.5	26.9
	女	(100.0)	100.0	44.7	54.4	24.2	2.9	30.2
	20～24歳 (28～32)	(26.4)	100.0	6.3	92.8	44.0	7.6	48.8
	25～29歳 (33～37)	(31.7)	100.0	40.8	58.5	28.2	1.8	30.3
	30～34歳 (38～42)	(41.9)	100.0	71.9	27.0	8.7	0.7	18.3

- 注：1) 集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答した者である。  
 2) 「結婚した」には、この8年間に結婚した後離婚した者を含む。  
 3) 第1回調査時の配偶者の有無の総数には、配偶者有無の不詳を含む。  
 4) [ ]内は、第1回調査時に配偶者なしであった者を総数としたこの8年間の結婚の状況の割合である。  
 5) 8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図1 性、年齢階級別にみた独身者のこの8年間の結婚の状況



- 注：1) 集計対象は、第1回調査時に独身で第9回調査まで回答した者である。  
 2) 「結婚した」には、この8年間に結婚した後離婚した者を含む。  
 3) 年齢は第1回調査時の年齢である。( )内は第9回調査時の年齢である。

## 2 所得額別にみた状況

### 男女ともに、所得額が高くなるほど、結婚の割合が高くなる傾向がある。

第3回の独身者について、「結婚した」は結婚前調査時の、「結婚していない」は第8回調査時の所得額階級別に、この6年間の結婚の状況をみた。

男女ともに、「400万円以上500万円未満」で、「結婚した」の割合が最も高く、所得額が高くなるほど、結婚の割合が高くなる傾向がある。特に、男性では、最も低い「100万円未満」で12.1%、最も高い「400万円以上500万円未満」で39.8%と、27.7ポイントの差がある。(表2、図2)

表2 性、所得額階級別にみたこの6年間の結婚の状況

(単位：%)

		男			女				
		総数	結婚した	結婚していない	総数	結婚した	結婚していない		
所得額	総数	(100.0)	100.0	28.7	71.3	(100.0)	100.0	36.8	63.2
	100万円未満	(11.1)	100.0	12.1	87.9	(11.2)	100.0	26.5	73.5
	100万円以上200万円未満	(9.2)	100.0	18.3	81.7	(20.1)	100.0	35.6	64.4
	200万円以上300万円未満	(20.5)	100.0	24.4	75.6	(29.4)	100.0	38.5	61.5
	300万円以上400万円未満	(24.7)	100.0	32.5	67.5	(19.8)	100.0	41.4	58.6
	400万円以上500万円未満	(14.5)	100.0	39.8	60.2	(7.7)	100.0	42.5	57.5
	500万円以上	(12.6)	100.0	35.3	64.7	(5.4)	100.0	32.9	67.1

注：1) 集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答し、第3回調査時に独身の者である。

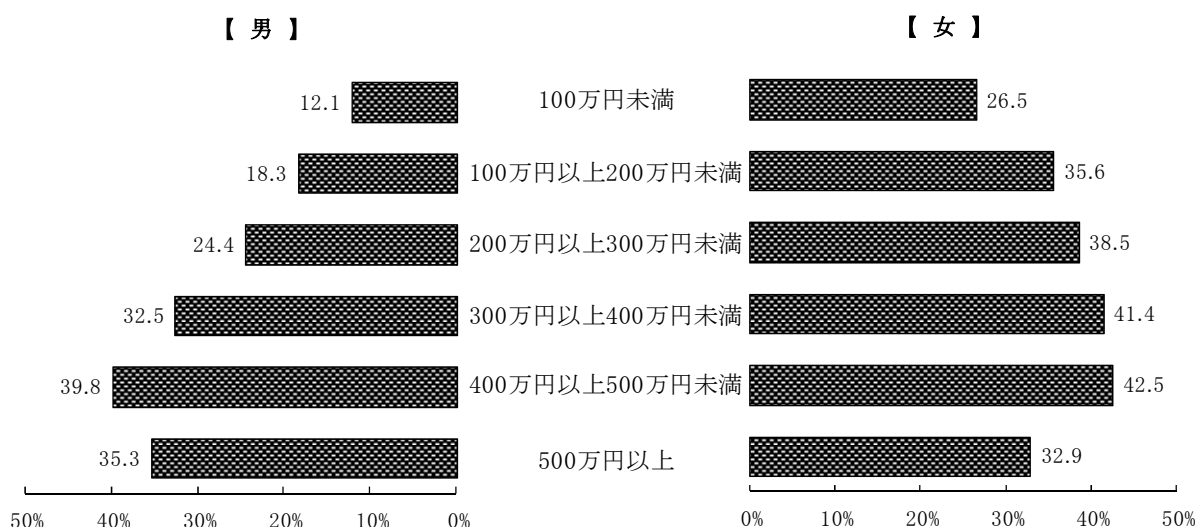
2) 所得額は、「結婚した」は結婚前調査時の、「結婚していない」は第8回調査時の状況である。

3) 「結婚した」には、この6年間に結婚した後離婚した者を含む。

4) 6年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

5) 所得額の「100万円未満」には所得なしを、総数には所得不詳を含む。

図2 性、所得額階級別にみたこの6年間に結婚した割合



注：1) 集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答し、第3回調査時に独身の者である。

2) 所得額は、結婚前調査時の状況である。

3) 「結婚した」には、この6年間に結婚した後離婚した者を含む。

4) 6年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

5) 所得額の「100万円未満」には所得なしを含む。

### 3 初職別にみた状況

**男女ともに、初職で正規の仕事をしている者のほうが、今回調査時までに結婚を経験する割合が高い。**

第1回から第9回まで回答した者について、初職の就業形態の正規・非正規別に、第9回調査時までの結婚経験の状況をみると、男性は「初職が正規」で「結婚経験あり」は66.7%、「初職が非正規」で「結婚経験あり」は40.5%となっている。女性は「初職が正規」で「結婚経験あり」は74.7%、「初職が非正規」で「結婚経験あり」は59.4%となっている。(表3、図3)

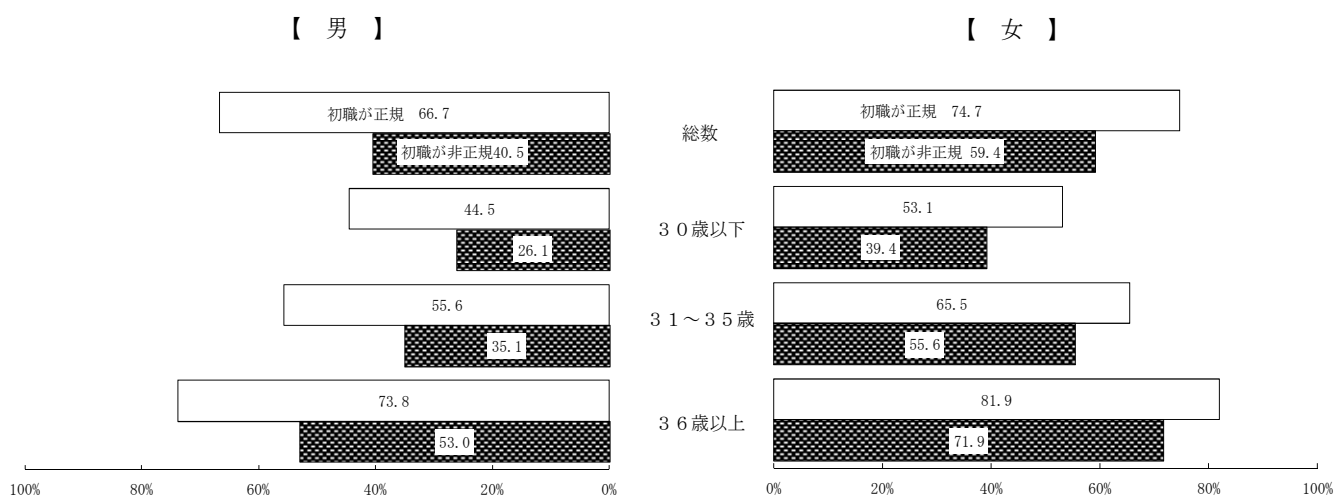
表3 性、年齢階級、初職の就業形態別にみた第9回調査時までの結婚経験の状況

(単位：%)

	男				女					
	総数	結婚経験あり	結婚経験なし	不詳	総数	結婚経験あり	結婚経験なし	不詳		
総数	(100.0)	100.0	61.9	37.2	0.9	(100.0)	100.0	70.7	28.6	0.7
30歳以下	(10.5)	100.0	36.8	61.9	1.3	(12.4)	100.0	47.9	51.7	0.4
31～35歳	(28.3)	100.0	51.2	48.0	0.9	(28.7)	100.0	62.6	36.8	0.6
36歳以上	(61.2)	100.0	71.1	28.1	0.8	(58.9)	100.0	79.5	19.7	0.8
(再掲)初職が正規	(100.0)	100.0	66.7	32.4	0.9	(100.0)	100.0	74.7	24.7	0.6
30歳以下	(8.2)	100.0	44.5	54.7	0.8	(10.0)	100.0	53.1	46.7	0.2
31～35歳	(26.2)	100.0	55.6	43.3	1.1	(26.2)	100.0	65.5	33.7	0.7
36歳以上	(65.6)	100.0	73.8	25.3	0.9	(63.8)	100.0	81.9	17.6	0.5
(再掲)初職が非正規	(100.0)	100.0	40.5	58.5	0.9	(100.0)	100.0	59.4	39.8	0.8
30歳以下	(21.0)	100.0	26.1	72.5	1.4	(20.3)	100.0	39.4	59.7	0.9
31～35歳	(37.8)	100.0	35.1	64.5	0.4	(36.3)	100.0	55.6	44.2	0.3
36歳以上	(41.2)	100.0	53.0	45.9	1.1	(43.4)	100.0	71.9	26.8	1.3

注：1)集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答した者である。  
 ただし、第2回調査時の初職の就業継続の状況が不詳の者、及び第2回調査時までに仕事についていない者を除く。  
 2)第1回調査時に離婚・死別経験がある独身者であり、その後第9回調査時までに結婚をしていない者は結婚経験ありには含まれない。  
 3)年齢は、第9回調査時の年齢である。

図3 性、年齢階級、初職の正規・非正規別にみた第9回調査時までの結婚経験の割合



注：1)集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答した者である。  
 ただし、第2回調査時の初職の就業継続の状況が不詳の者、及び第2回調査時までに仕事についていない者を除く。  
 2)第1回調査時に離婚・死別経験がある独身者であり、その後第9回調査時までに結婚をしていない者は結婚経験ありには含まれない。  
 3)年齢は、第9回調査時の年齢である。

## II 夫婦における子どもの出生の状況

### 1 この8年間の出生の状況

#### この8年間に、50.1%の夫婦に子どもが生まれた。

この8年間に、第1回からの夫婦の40.2%、第2回からの夫婦の86.7%、第3回からの夫婦の84.9%、第4回からの夫婦の86.3%、第5回からの夫婦の78.7%、第6回からの夫婦の66.5%、第7回からの夫婦の46.6%、第8回からの夫婦の22.9%に子どもが生まれた（表4、図4）。

表4 夫婦となった時点別にみたこの8年間の出生の状況

		総数	この8年間に出生あり					この8年間に出生なし	
			総数	第1子	第2子	第3子以降	(再掲) 第8回調査から第9回調査間に出生		
夫婦となった時点	総数	(100.0)	100.0	50.1	15.3	23.5	11.3	7.6	49.9
	第1回調査からの夫婦	(64.8)	100.0	40.2	4.6	20.4	15.2	1.9	59.8
	第2回調査 "	(4.5)	100.0	86.7	25.9	52.5	8.2	11.4	13.3
	第3回調査 "	(5.1)	100.0	84.9	28.5	45.8	10.6	12.3	15.1
	第4回調査 "	(6.0)	100.0	86.3	34.1	45.5	6.6	15.2	13.7
	第5回調査 "	(4.8)	100.0	78.7	42.0	35.5	1.2	18.3	21.3
	第6回調査 "	(5.3)	100.0	66.5	46.8	18.6	1.1	26.6	33.5
	第7回調査 "	(5.0)	100.0	46.6	43.8	2.8	-	20.5	53.4
	第8回調査 "	(4.5)	100.0	22.9	22.3	0.6	-	22.9	77.1

注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。

① 第1回調査から第9回調査まで双方が回答した夫婦

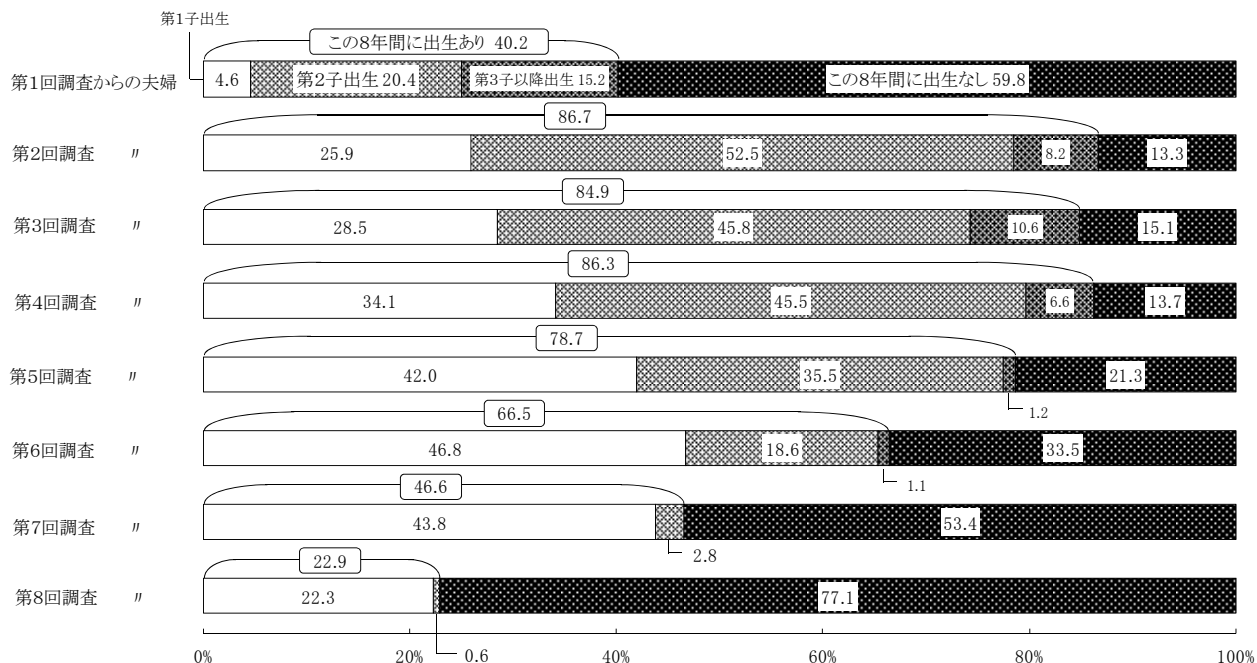
② 第1回調査時に独身で第8回調査までの間に結婚し、結婚後第9回調査まで双方が回答した夫婦

2) 「第1回調査からの夫婦」には、調査開始以前からの夫婦を含む。

3) 「この8年間に出生あり」及び「この8年間に出生なし」とは、夫婦として回答したそれぞれの回以降の出生の状況である。

4) この8年間に2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図4 夫婦となった時点別にみたこの8年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。

① 第1回調査から第9回調査まで双方が回答した夫婦

② 第1回調査時に独身で第8回調査までの間に結婚し、結婚後第9回調査まで双方が回答した夫婦

2) 「第1回調査からの夫婦」には、調査開始以前からの夫婦を含む。

3) 「この8年間に出生あり」及び「この8年間に出生なし」とは、夫婦として回答したそれぞれの回以降の出生の状況である。

4) この8年間に2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

## 2 夫の休日の家事・育児時間別にみた状況

**子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向がある。**

夫婦について、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第8回調査時の夫の休日の家事・育児時間別に、この8年間の出生の状況をみた。

子ども1人の夫婦では、「家事・育児時間なし」で23.7%、「6時間以上」で85.5%に第2子が生まれている。(表5)

また、子どもがいる夫婦全体でみると、「家事・育児時間なし」で9.9%、「6時間以上」で67.4%に第2子以降が生まれており、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれている割合が高くなる傾向がある(図5)。

表5 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの8年間の出生の状況

		総数			子どもなしの夫婦			子ども1人の夫婦			子ども2人以上の夫婦			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
夫の休日の家事・育児時間	総数	(100.0)	100.0	47.1	52.9	100.0	46.3	53.7	100.0	73.6	26.4	100.0	27.1	72.9
	家事・育児時間なし	(8.4)	100.0	29.5	70.5	100.0	46.2	53.8	100.0	23.7	76.3	100.0	3.6	96.4
	2時間未満	(33.9)	100.0	35.8	64.2	100.0	46.3	53.7	100.0	51.1	48.9	100.0	12.7	87.3
	2時間以上4時間未満	(20.2)	100.0	47.9	52.1	100.0	47.2	52.8	100.0	75.6	24.4	100.0	25.9	74.1
	4時間以上6時間未満	(13.7)	100.0	54.3	45.7	100.0	37.5	62.5	100.0	80.4	19.6	100.0	32.6	67.4
	6時間以上	(20.9)	100.0	67.4	32.6	100.0	75.0	25.0	100.0	85.5	14.5	100.0	48.1	51.9

注:1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

① 第1回調査から第9回調査まで双方が回答した夫婦

② 第1回調査時に独身で第8回調査までの間に結婚し、結婚後第9回調査まで双方が回答した夫婦

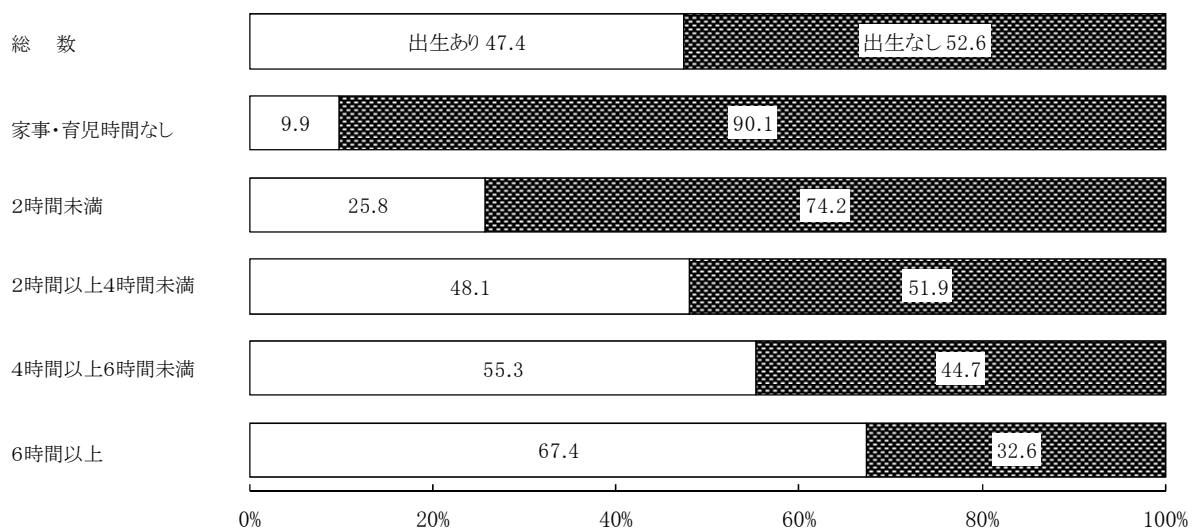
2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第8回調査時の状況である。

3) 「子どもなしの夫婦」「子ども1人の夫婦」「子ども2人以上の夫婦」は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第8回調査時の状況である。

4) 8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

5) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

図5 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの8年間の第2子以降の出生の状況



注:1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

① 第1回調査から第9回調査まで双方が回答した夫婦

② 第1回調査時に独身で第8回調査までの間に結婚し、結婚後第9回調査まで双方が回答した夫婦

③ 出生前調査時に、子ども1人以上ありの夫婦

2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第8回調査時の状況である。

3) 8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

4) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

### Ⅲ 就業の状況

#### 1 就業の変化

第1回調査（20～34歳）時に正規の仕事をしている者のうち、男性79.8%、女性54.8%が第9回調査（28～42歳）時も正規の仕事をしている。

第1回が「仕事あり」の者について、就業形態の正規・非正規別でみると、第1回と第9回が「正規」の者の割合は、男性は79.8%、女性は54.8%となっている（表6）。

第1回に「非正規」だった者の第9回就業形態をみると、第9回に「正規」となっているのは、男性38.5%、女性15.0%となっており、男女とも年齢が低いほど「正規」になっている割合が高くなる傾向がある（図6）。

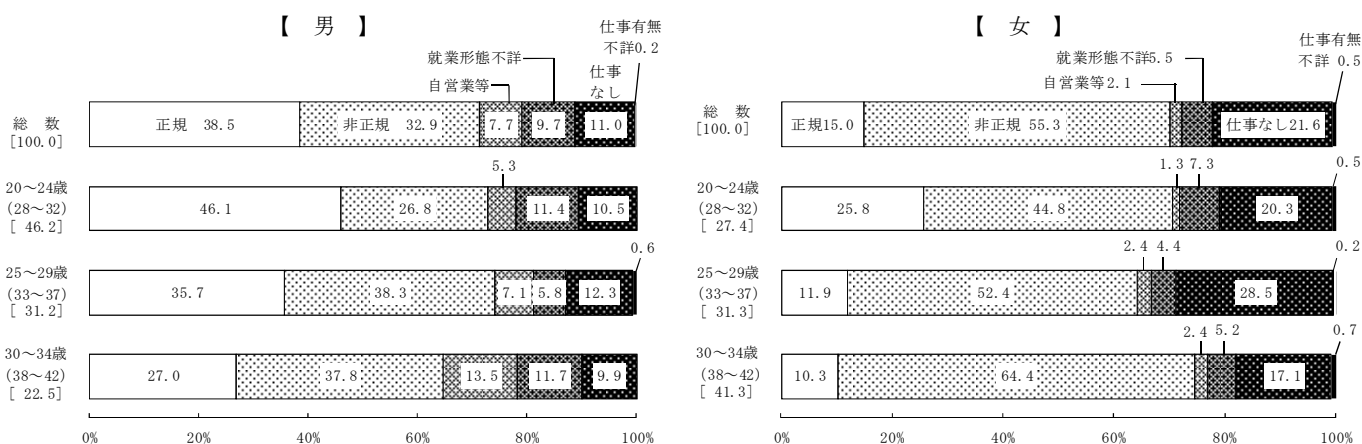
表6 性、第1回調査時の仕事の有無別にみた第9回調査時の仕事の有無

（単位：％）

		第9回調査時の仕事の有無、（再掲）正規・非正規					
		総数	仕事あり	（再掲）		仕事なし	
				正規	非正規		
第1回調査時（再掲）正規・非正規の仕事の有無、	男	(100.0)	100.0	93.6	63.2	9.5	6.0
	仕事あり	(88.4)	100.0	96.3	66.4	8.5	3.3
	（再掲）正規	(62.1)	100.0	97.3	79.8	4.8	2.4
	（再掲）非正規	(10.4)	100.0	88.8	38.5	32.9	11.0
	仕事なし	(8.9)	100.0	70.9	36.9	16.8	29.1
	女	(100.0)	100.0	71.7	27.3	33.8	28.0
	仕事あり	(66.8)	100.0	79.2	36.1	31.5	20.6
	（再掲）正規	(34.1)	100.0	79.3	54.8	16.4	20.7
	（再掲）非正規	(24.7)	100.0	77.9	15.0	55.3	21.6
	仕事なし	(31.7)	100.0	56.2	8.4	38.9	43.5

注：1)集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答した者である。ただし、第2回調査時に主に通学している者を除く。  
2)男、女には、仕事の有無不詳を含む。

図6 性、年齢階級別にみた第1回調査時に非正規だった者の第9回調査時の就業形態の変化



注：1)集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答した者である。ただし、第2回調査時に主に通学している者を除く。  
2)年齢は、第1回調査時の年齢である。（ ）内は第9回調査時の年齢である。

## 2 結婚後の就業継続意欲別にみた女性の就業継続の状況

結婚した後も現在の仕事を続けると考えていた場合、正規では 81.6%が結婚後も同一就業を継続している。

第1回の独身者のうち、この8年間に結婚し、結婚前に仕事をしてきた女性について結婚後の就業継続意欲別に結婚後の就業継続の状況をみると、現在の仕事を「結婚した後も続ける」と回答したもののうち 72.0%が同一就業を継続している。(表7)

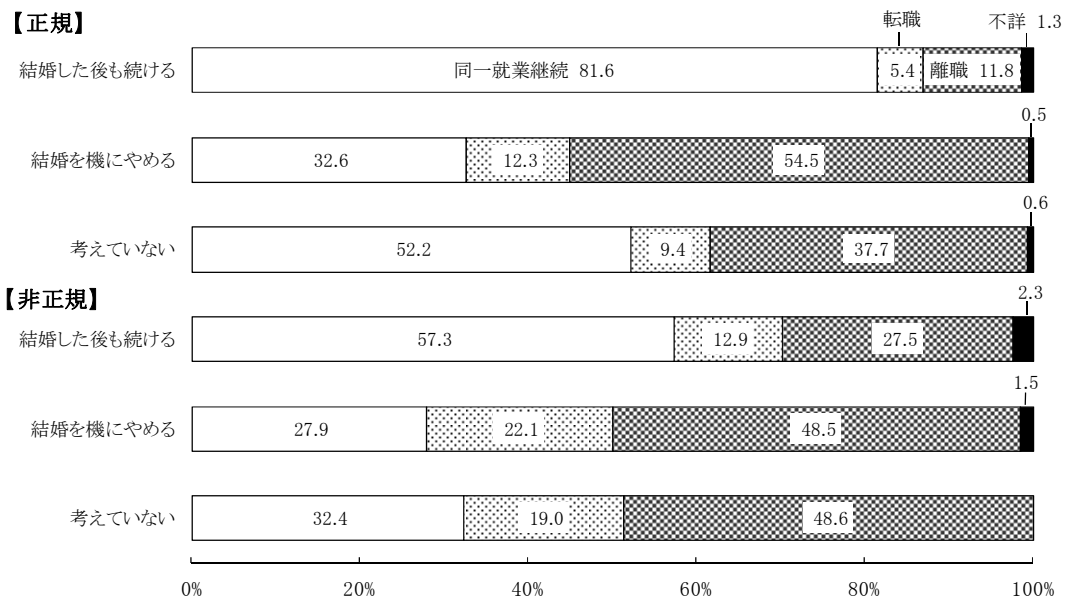
また、就業形態別にみると、「正規」では 81.6%、「非正規」では 57.3%が同一就業を継続している(図7)。

表7 結婚後の就業継続意欲、就業形態別にみた結婚した女性の就業継続の状況

		総数	同一就業継続	転職			離職	不詳	
				総数	(再掲)				
					(再掲)正規へ	(再掲)非正規へ			
結婚後の就業継続意欲・非正規	総数	(100.0)	100.0	57.0	10.0	2.0	6.9	28.8	4.3
	結婚した後も続ける	(54.2)	100.0	72.0	7.5	1.7	4.9	15.1	5.4
	結婚を機にやめる	(20.7)	100.0	31.8	14.4	2.7	10.6	52.7	1.1
	考えていない	(22.2)	100.0	42.2	12.4	2.5	8.5	40.8	4.6
	(再掲)正規	(100.0)	100.0	64.9	7.7	1.4	4.9	26.4	1.0
	結婚した後も続ける	(56.3)	100.0	81.6	5.4	1.3	3.0	11.8	1.3
	結婚を機にやめる	(22.5)	100.0	32.6	12.3	2.1	8.6	54.5	0.5
	考えていない	(19.2)	100.0	52.2	9.4	1.3	6.3	37.7	0.6
	(再掲)非正規	(100.0)	100.0	45.1	16.2	3.1	12.5	37.3	1.4
	結婚した後も続ける	(47.6)	100.0	57.3	12.9	1.8	10.5	27.5	2.3
	結婚を機にやめる	(18.9)	100.0	27.9	22.1	4.4	17.6	48.5	1.5
	考えていない	(29.2)	100.0	32.4	19.0	4.8	13.3	48.6	-

- 注：1) 集計対象は、第1回調査時に独身で第9回調査まで回答し、この8年間に結婚し、結婚前調査時に仕事ありの女性である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。  
 2) 結婚後の就業継続意欲は、第1回調査から第4回調査までに結婚した者は第1回調査時の、第5回調査から第7回調査までに結婚した者は第4回調査時の、第8回調査から第9回調査までに結婚した者は第7回調査時の状況である。  
 また、上記就業継続意欲の該当調査回に仕事あり以外、及び結婚意欲が絶対したくないの者を除く。  
 3) 「正規」「非正規」は、結婚前調査時の状況である。  
 4) 総数には、結婚後の就業継続意欲不詳を含む。  
 5) 8年間で2回以上結婚している場合、最初の結婚の状況について計上している。

図7 結婚後の就業継続意欲、就業形態の正規・非正規別にみた結婚した女性の就業継続の状況



- 注：1) 集計対象は、第1回調査時に独身で第9回調査まで回答し、この8年間に結婚し、結婚前調査時に仕事ありの女性である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。  
 2) 結婚後の就業継続意欲は、第1回調査から第4回調査までに結婚した者は第1回調査時の、第5回調査から第7回調査までに結婚した者は第4回調査時の、第8回調査から第9回調査までに結婚した者は第7回調査時の状況である。  
 また、上記就業継続意欲の該当調査回に仕事あり以外、及び結婚意欲が絶対したくないの者を除く。  
 3) 「正規」「非正規」は、結婚前調査時の状況である。  
 4) 8年間で2回以上結婚している場合、最初の結婚の状況について計上している。

### 3 女性の育児休業制度利用後の就業の状況

**女性の育児休業制度利用者のうち、育児休業制度利用3年後に仕事ありの者は88.0%。育児休業制度利用時に正規であった場合、その割合は89.5%と高くなっている。**

第2回から第6回までに育児休業制度を利用した仕事ありの女性について、育児休業制度利用3年後の就業状況をみると、88.0%が「仕事あり」、そのうち「正規」が60.4%、「非正規」が19.0%であり、「仕事なし」は12.0%となっている。また、育児休業制度利用時に「正規」だった者の育児休業制度利用3年後の就業状況をみると、89.5%が「仕事あり」、そのうち「正規」が80.9%、「非正規」が6.0%であり、「仕事なし」は10.5%となっている（表8、図8）。

表8 仕事ありの女性の育児休業制度利用時の就業形態別にみた育児休業制度利用3年後の就業状況

(単位：%)

		育児休業制度利用3年後							
		総数	仕事あり					仕事なし	
			総数	正規	非正規	自営業等	就業形態不詳		
育児休業制度利用時	仕事あり	(100.0)	100.0	88.0	60.4	19.0	6.3	2.3	12.0
	(再掲) 正規	(69.5)	100.0	89.5	80.9	6.0	1.5	1.1	10.5
	(再掲) 非正規	(19.0)	100.0	82.2	6.8	69.9	2.7	2.7	17.8

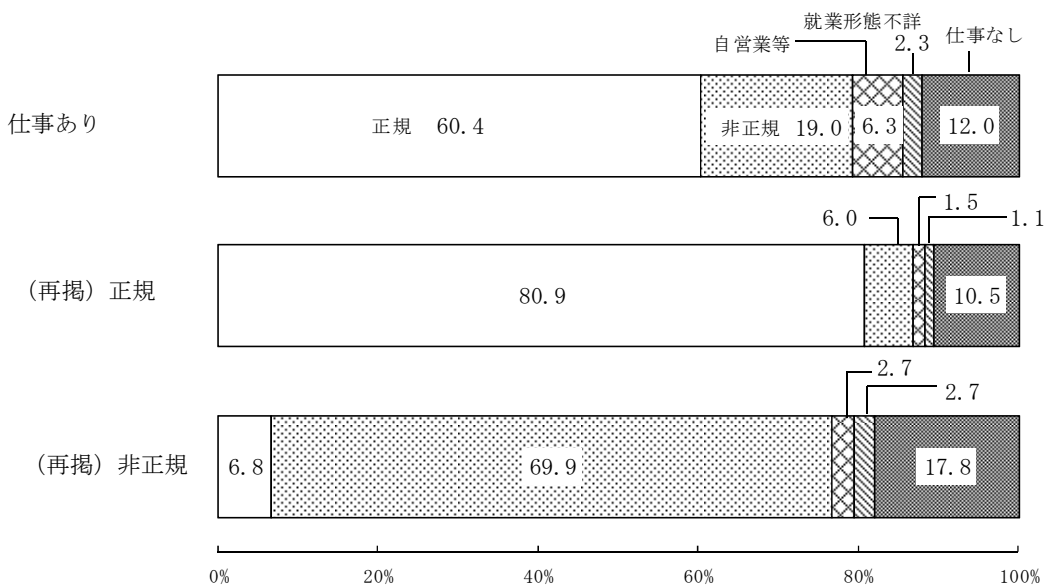
注：1) 集計対象は、①かつ②に該当する第2回調査から第6回調査までに育児休業制度を利用した女性である。

① 第1回調査から第9回調査まで回答した者

② 各回調査時前年11月から調査時前月までの1年間に育児休業制度を利用した者

2) 4年間で2回以上育児休業制度利用の場合は、最初の利用について計上している。

図8 仕事ありの女性の育児休業制度利用時の就業形態別にみた育児休業制度利用3年後の就業状況



注：1) 集計対象は、①かつ②に該当する第2回調査から第6回調査までに育児休業制度を利用した女性である。

① 第1回調査から第9回調査まで回答した者

② 各回調査時前年11月から調査時前月までの1年間に育児休業制度を利用した者

2) 4年間で2回以上育児休業制度利用の場合は、最初の利用について計上している。



#### 4 出産後の就業継続意欲別にみた妻の就業継続の状況

出産した後も現在の仕事を続けると考えていた場合、正規では 85.6%が出産後も同一就業を継続している。

夫婦のうち、この 8 年間に出産し、出産前に仕事をしてきた妻について出産後の就業継続意欲別に出産後の就業継続の状況をみると、現在の仕事を「出産した後も続ける」と回答したもののうち 77.4%が同一就業を継続している。(表 9)

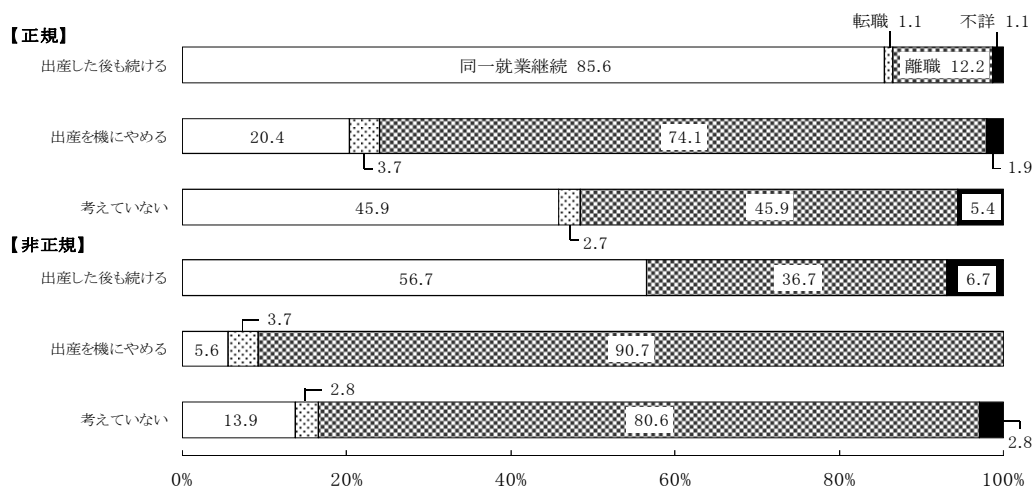
また、就業形態別にみると、「正規」では 85.6%が同一就業を継続している(図 9)。

表 9 出産後の就業継続意欲、就業形態別にみた出産した妻の就業継続の状況

		(単位：%)					
		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
(再掲) 出産後の就業継続意欲、 出産前の正規・非正規	総数	(100.0)	100.0	43.5	2.1	50.9	3.6
	出産した後も続ける	(39.3)	100.0	77.4	0.8	18.0	3.8
	出産を機にやめる	(32.5)	100.0	12.7	3.6	81.8	1.8
	考えていない	(22.8)	100.0	31.2	2.6	61.0	5.2
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	57.7	2.1	38.1	2.1
	出産した後も続ける	(47.6)	100.0	85.6	1.1	12.2	1.1
	出産を機にやめる	(28.6)	100.0	20.4	3.7	74.1	1.9
	考えていない	(19.6)	100.0	45.9	2.7	45.9	5.4
	(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	19.5	2.3	75.0	3.1
	出産した後も続ける	(23.4)	100.0	56.7	-	36.7	6.7
	出産を機にやめる	(42.2)	100.0	5.6	3.7	90.7	-
	考えていない	(28.1)	100.0	13.9	2.8	80.6	2.8

- 注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③④に該当するこの 8 年間に子どもが生まれた同居夫婦である。  
 ①第 1 回調査から第 9 回調査まで双方が回答した夫婦  
 ②第 1 回調査時に独身で第 8 回調査までの間に結婚し、結婚後第 9 回調査まで双方が回答した夫婦  
 ③第 1 回調査時に子どもなしの夫婦  
 ④出産前調査時に妻が仕事ありであった夫婦  
 2) 出産後の就業継続意欲は、第 1 回調査から第 4 回調査までに出産した者は第 1 回調査時の、第 5 回調査から第 7 回調査までに出産した者は第 4 回調査時の、第 8 回調査から第 9 回調査までに出産した者は第 7 回調査時の状況である。  
 また、上記就業継続意欲の該当調査回に妻が仕事あり以外、及び妻の子どもをもつ意欲が絶対欲しくないの夫婦を除く。  
 3) 「正規」「非正規」は、出産前調査時の状況である。  
 4) 総数には、出産後の就業継続意欲不詳を含む。  
 5) 8 年間で 2 人以上出生ありの場合は、第 1 子について計上している。

図 9 出産後の就業継続意欲、就業形態の正規・非正規別にみた出産した妻の就業継続の状況



- 注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③④に該当するこの 8 年間に子どもが生まれた同居夫婦である。  
 ①第 1 回調査から第 9 回調査まで双方が回答した夫婦  
 ②第 1 回調査時に独身で第 8 回調査までの間に結婚し、結婚後第 9 回調査まで双方が回答した夫婦  
 ③第 1 回調査時に子どもなしの夫婦  
 ④出産前調査時に妻が仕事ありであった夫婦  
 2) 出産後の就業継続意欲は、第 1 回調査から第 4 回調査までに出産した者は第 1 回調査時の、第 5 回調査から第 7 回調査までに出産した者は第 4 回調査時の、第 8 回調査から第 9 回調査までに出産した者は第 7 回調査時の状況である。  
 また、上記就業継続意欲の該当調査回に妻が仕事あり以外、及び妻の子どもをもつ意欲が絶対欲しくないの夫婦を除く。  
 3) 「正規」「非正規」は、出産前調査時の状況である。  
 4) 8 年間で 2 人以上出生ありの場合は、第 1 子について計上している。

## IV 子ども観

### 1 結婚・出生の状況別にみたこの8年間の子ども観の変化

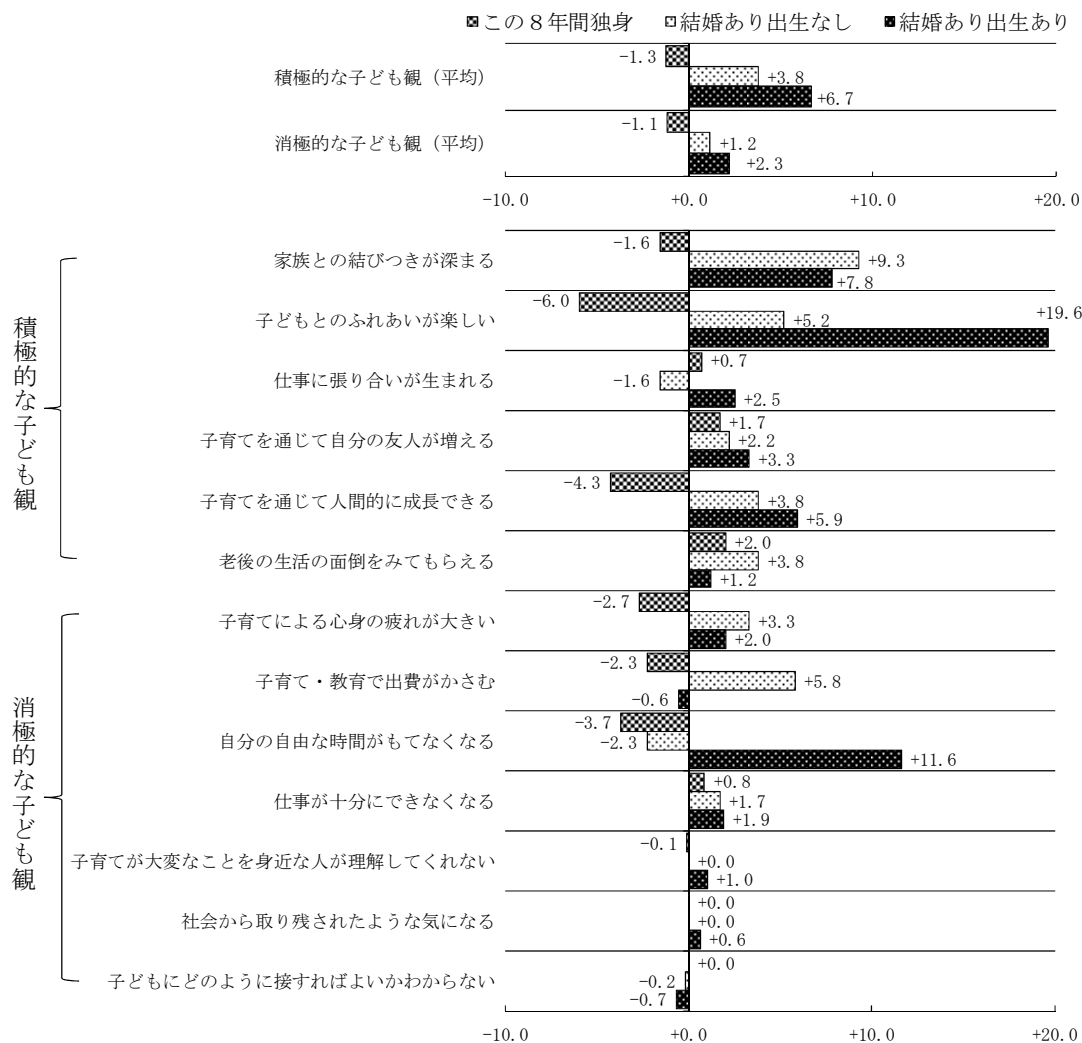
第1回調査（20～34歳）時の独身者のうち、この8年間に結婚や出生があった者は、子どもをもつことに対して「子どもとのふれあいが楽しい」「子育てを通じて自分の友人が増える」と感じる割合が増加している。特に出産を経験した女性では顕著である。

第1回調査時の独身者について、性別、結婚・出生の状況別に第1回から第9回の子ども観の増減をみた。

男性をみると、この8年間独身では積極的・消極的のいずれの子ども観も減少している。一方結婚あり出生なし、結婚あり出生ありではいずれの子ども観も増加している。

さらに、どのように感じているかをみると、結婚あり出生なしでは、「家族との結びつきが深まる」が9.3ポイント増、「子育て・教育で出費がかさむ」が5.8ポイント増となっている。結婚あり出生ありでは、「子どもとのふれあいが楽しい」が19.6ポイント増、「自分の自由な時間がもてなくなる」が11.6ポイント増となっている。（図10）

図10 男性のこの8年間の結婚・出生の状況別にみた  
第1回調査時及び第9回調査時の子ども観（複数回答）の増減

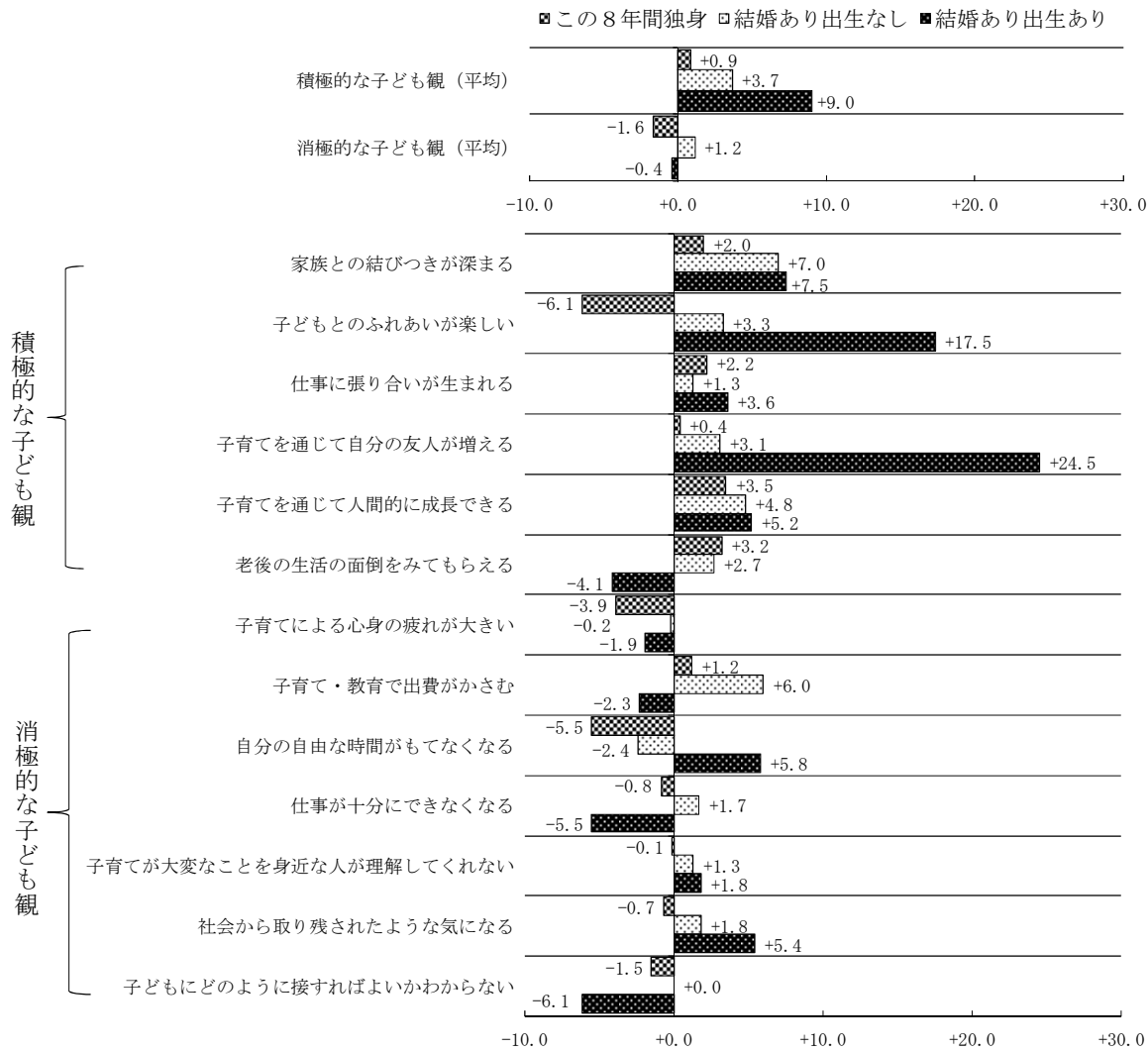


注：1)集計対象は、第1回調査時に独身で第9回調査まで回答した者である。  
ただし、「結婚あり」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を含まない。  
2)数値は第9回調査時の数値－第1回調査時の数値として集計した。

女性をみると、この8年間独身では積極的な子ども観が増加し消極的な子ども観は減少している。一方結婚あり出生なしではいずれの子ども観も増加し、結婚あり出生ありでは積極的な子ども観が大幅に増加している。

さらに、どのように感じているかをみると、結婚あり出生ありでは「子育てを通じて自分の友人が増える」が24.5ポイント増、「子どもとのふれあいが楽しい」が17.5ポイント増と大幅に増加している。(図11)

図11 女性のこの8年間の結婚・出生の状況別にみた  
第1回調査時及び第9回調査時の子ども観（複数回答）の増減



注：1)集計対象は、第1回調査時に独身で第9回調査まで回答した者である。  
ただし、「結婚あり」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を含まない。  
2)数値は第9回調査時の数値-第1回調査時の数値として集計した。